



難民のいま、そしてこれから

世界には、紛争や迫害などにより、1億2千万人以上の人々が住み慣れた故郷から避難を余儀なくされています。困難に直面する難民がいるということを知り、学ぶことで、私たちにできることを考えましょう。

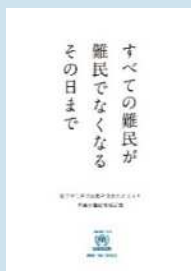
2025年

6/19(木) ▶ 6/26(木)

写真展

会場：県庁新庁舎ロビー

写真提供：国連UNHCR協会



6/14(土) 上映会

難民からオリンピック選手になった一人のランナーの物語。不屈の精神で走り続ける感動の人生



6/15(日) 多文化共生セミナー

鎌倉市のNPO法人「アルペなんみんセンター」のコーディネーターによるセミナー開催



6/20(金) ブルーライトアップ

6月20日「世界難民の日」の日没後、県庁本庁舎をUNHCRブルーにライトアップ



6/21(土) ワークショップ

困難に立ち向かい乗り越えていく難民のことを自分事として考え、理解を深めるためのワークショップを開催

お問い合わせ先：

神奈川県 文化スポーツ観光局 国際課 外国籍県民支援グループ
〒231-8588 神奈川県横浜市中区日本大通 1 ☎ 045-285-0543

■ 主催 神奈川県

■ 協力 UNHCR駐日事務所 国連UNHCR協会

(公財) かながわ国際交流財団

NPO法人アルペなんみんセンター

神奈川県立地球市民かながわプラザ (指定管理者：公益社団法人青年海外協力協会)



詳しくはこちら▲

01 映画『戦火のランナー』上映会



戦争の続いていたスーダン。両親は8歳のグオルの命を守るため、泣く泣くたった一人で旅立たせる。やがてアメリカに難民として到着した彼はマラソン選手となり、奇跡を体現していく。不屈の精神で走り続けるグオルの人生に感動せずにはいられない、感涙のドキュメンタリー。

日程 6月14日(土) ①10:00～ ②14:00～

場所 地球市民かながわプラザ(あーすぷらざ)

申込 右記QRコードからお申し込み下さい
※1席500円



02 多文化共生セミナー (オンライン)

身近に暮らす難民の人たちの姿 ～難民の友として共に歩むアルペの取り組み～

難民支援に取り組む、鎌倉市のNPO法人「アルペなんみんセンター」のコーディネーターを講師に招き、私たちの身近なところで暮らしている難民の人たちの姿と、その受入れの活動について紹介します。

日程

6月15日(日)
14:00～15:30

申込

右記QRコードから
お申し込み下さい



講師 漆原比呂志

(NPO法人アルペなんみんセンター 地域連携コーディネーター)

1966年鎌倉市生まれ、在住。1992年からJLMMより、カンボジア・ベトナムへ派遣。2004年よりJLMM事務局長として、カンボジア等へのスタディツアー企画など、日本からの支援にあたる。カトリック教会のERST(緊急対応支援室)スタッフ、上智大学「ボランティア論」非常勤講師、サレジオ中学高等学校、清泉小学校外部講師。

03 ブルーライトアップ

6月20日「世界難民の日」日没後、日本の各地のランドマークがUNHCRブルーに染まります。

日程

6月20日(金)日没後(18:30～20:30)

場所

県庁本庁舎



04 ワークショップ『一緒に考える難民のこと』

世界の中で私たちに何ができるのか

「世界難民の日」は紛争や迫害から逃れることを余儀なくされた人々の苦境に立ち向かう勇気を称える日です。困難に立ち向かい乗り越えていく難民のことを自分事として考え、理解を深めるためのワークショップを開催します。

日程

6月21日(土) 14:00～15:30

場所

地球市民かながわプラザ(あーすぷらざ)

申込

右記QRコードからお申し込み下さい ※先着20名(小4～中3対象)



05 写真展 すべての難民が難民でなくなるその日まで

果てしなく積みあがる数字の向こうに、私たちと何ひとつ変わらぬいのちと人生があります。UNHCRは130か国以上で、故郷を追われた人々のいのちと尊厳を守り、新たな生活を築くための支援を続けています。

日程

6月19日(木)から26日(木) 8:30～17:15
(初日のみ10:00～)

場所

県庁新庁舎ロビー

すべての難民が
難民でなくなる
その日まで



難民のことを知り
学ぶことから
はじまる

